

優秀ポスター賞（活動報告：院内がん登録）

宮城県における院内がん登録相互訪問の取り組み

P-15

佐藤真弓¹、金村政輝^{1,2}、新田彰子¹、中山雅晴³、末永洋子⁴、戸来安子⁴、本多博⁵、栗原誠⁶、島村弘宗⁷、助川素子⁸、吉田龍一⁹、佐々木祐子¹⁰、古田昭彦¹¹、阿部寛子¹²、佐藤信洋¹³、梅宮あかね¹³

1)宮城立がんセンター院内がん登録室、2)宮城立がんセンター研究所がん疫学・予防研究部、3)東北大学病院メディカルITセンター、4)東北大学病院医療情報課、5)東北大学病院乳癌外科、6)東北大学病院情報管理課、7)仙台医療センター総合外科、8)仙台医療センター情報管理課、9)大崎市民病院診療部、10)大崎市民病院臨床支援センター臨床支援室、11)石巻市立市民病院乳癌外科、12)石巻市立市民病院管理課、13)みやぎ県立病院医事課

【目的】

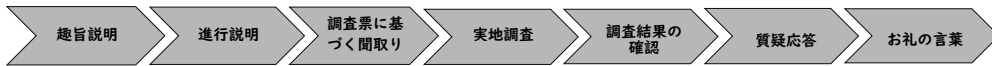
「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」において、がん診療連携拠点病院はPDCAサイクルの確保が求められており、その実施方法として、第三者による評価、拠点病院間の実地調査等を用いる等、工夫をすることとされている。このためがん登録部会でも相互訪問を開始した。

【方法】

がん登録部会で計画を策定した。1年間で2施設の訪問を行い、4年かけて7施設全てを訪問することとした。評価は、厚生労働大臣による「院内がん登録の実施に係る指針」及び国立がん研究センターによる「院内がん登録運用マニュアル」を参考に作成した調査票を用いて行った。また、優れた取り組みについての情報共有と現場の課題解決も目指すこととし、施設ごとの特徴的な取り組みや課題についての項目も設けた。予め訪問施設に調査票への記載と資料の準備をしてもらい、訪問当日は、調査票に基づく聞き取り調査及びがん登録室の実地調査を行った。終了後、口頭での講評を行い、後日、調査結果を文書にして施設長あてに報告した。また、各施設にアンケートを行った。現時点で4施設の訪問を終了している。

【手順】

訪問時間は約3時間30分、参加者は4回の平均で9.5人となり、受入れ施設側の院長、副院長等の参加もあった



Three panels showing: 相互訪問の調査票 (Survey form), 相互訪問の次第 (Sequence of visit), and 施設宛て訪問結果文書 (Report letter). Includes a sub-section for [アンケート結果] (Survey Results) with questions A and Q regarding the start of the mutual visit project and reasons for success.

【結果】

Table with 2 columns: 施設 (Facility) and 改善が望ましいと考えられた点 (Points for improvement). Rows A, B, C, D list various organizational and operational aspects like security, data provision, and staff training.

Table with 2 columns: 施設 (Facility) and 理由 (Reason). Rows A, B, C, D list reasons for success such as confirming actual content, understanding other facilities' systems, and receiving feedback.

【感想】

Two boxes: <受け入れ側施設> (Host facility) and <訪問側施設> (Visiting facility). Each contains feedback points from the respective perspective.

日本がん登録協議会 第29回学術集会 COI開示 筆頭演者名：佐藤真弓 当演題発表に関し、開示すべきCOIはありません